



2015.03

No.545

一般社団法人
群馬県労働者福祉協議会
〒379-2166 前橋市野中町361の2
TEL 027(263)3443
URL <http://www.gunma-rofukukyo.or.jp>
e-mail:post@gunma-rofukukyo.or.jp
発行責任者 金子裕昭

2014年度第3回勤労者福祉セミナー 防災・減災に向けた日頃の心構え

145名が想定を超える災害への備えを学ぶ



開会挨拶する北川理事長

2月28日県勤労福祉センターにて、講師に群馬大学大学院片田敏孝教授を招き、2014年度第3回勤労者福祉セミナーを開催しました。セミナーには、県内各地より一般参加の方50名を始めとして労働組合、生協、事業団体、地区労福協等から145名の方に参加いただきました。

本セミナーは、昨年2月の豪雪を始め、広島県の集中豪雨と土砂災害、御嶽山の噴火や長野県北部地震等々、生活不安をあおるような出来事を受け私たちが日常的に備えなければならないことを学びあう場として開催しました。

片田教授は冒頭、自然災害の少ない群

馬県と言われている「安全神話」を根本から正したい」と切り出しました。群馬は浅間山や白根山、榛名山、赤城山と予測のつかない活火山が多くあり、また、1947年のカスリーン台風では赤城山麓が崩落したなどの事例を挙げ、決して自然災害と無縁な地域ではないこと、更に最近の気象状況(集中豪雨、暴風雪、高波、高潮等)から想定を超える災害へ備えることが大切と強調されました。

そして大津波を生き抜いた釜石の子供たちの事例から、一人ひとりが自分の命に責任を持つこと、このことは家族全員が「親は、子供は、祖父母は必ず避難している」という信頼があることと述べられました。

更に、防災教育とは学校だけではなく、家庭や地域社会との連携があって初めて実効性が確保されると訴えられました。

私たちは日頃、「非常持出袋」や「避難場所を確認」することで災害への備えと考えがちですが、防災とは災害で人を死なせないことであり、自助・共助・公助が一体となり自然災害に立ち向かう社会としていくことを強く訴える片田教授の講演は参加者に大きな感銘を与えました。



片田教授の講演



金子専務の閉会挨拶



上毛新聞に載りました(3/1)

今年も行きました！！

長野県栄村除雪ボランティア

労働組合、事業団体等から27名が雪の壁と格闘しました！



参加者の皆さん

2015年2月21日から22日にかけて県内の労働組合、事業団体等から27名の方に参加いただき、長野県栄村にて除雪ボランティアを実施しました。

栄村は東日本大震災の翌日2011年3月12日に震度6強の地震に見舞われ、過疎化が進行する長野県内でも未曾有の豪雪地域です。ぐんま労福協の除雪ボランティアは今回で4回目となります。栄村の広範囲にわたるエリアが作業地となりました。

たが、昨年より協力をいただいている栄村社会福祉協議会総合サポートセンターの皆さんに事前準備をしていただき、スムーズに移動することができました。栄村の積雪は昨年を上回っていましたが、参加者を4グループに編成し、森地区、長瀬地区、平滝地区、箕作地区内の住宅や保育園、共同駐車場、公民館、テニスコート管理棟等々にて、かんじきをつけスノーダンプやスコップ等を使用し、地元の人たちの手伝いをいただきながら除雪作業を行いました。

また、昼食や休憩場所を提供していただいたお宅では冬の暮らしの厳しさなどについてお話しをいただきました。

参加者からは「昨年の群馬の大雪とは比較にならない豪雪が実感できた」「過疎化が進む地域には継続した支援が必要を感じた」等の声が寄せられています。



スノーダンプで家周りを



かんじき付けての作業



油料さん宅で休憩中です

群馬県事業団体連絡会

三施設にチャリティ金を寄贈！

群馬県事業団体連絡会（中央労働金庫群馬県本部、全労済群馬県本部、群馬トラベルセンター、㈱福祉対策協会）は2014年11月19日、事業団体連絡会が開催したチャリティゴルフ大会で寄せられた参加者の善意を取りまとめ、群馬県内の三施設の運営に役立ててもらうために、チャリティ金を寄贈しました。

寄贈には加藤雅二会長（全労済群馬県本部本部長）と小渕晃幸事務局長（中央労働金庫群馬県本部副本部長）が寄贈先を訪問し代表者に直接手渡しました。それぞれの代表者の方からは善意を大切に施設の運営に活かしていきたいと謝辞をいただきました。



社会福祉法人 あかぎの營き
※就労継続支援事業、生活介護事業
理事長 下山 健次 氏(左)



特定非営利法人 ゆうゆう
※障がい児及び家庭への福祉の増進
代表 今井 寿美枝 氏(右)



社会福祉法人 ゆづりは会
※障がい者の就労・相談支援
理事長 関根 嘉明 氏(右)

中央ろうきん休日相談会をリニューアル！

ゆっくり、あんしん、 夢づくり相談日

中央ろうきん群馬地区では、好評を得ていた土日の相談会を「ゆっくり、あんしん、夢づくり相談日」としてリニューアルし、ローンや資産運用などの相談に有給休暇を使うことなく、気軽に県内の営業店への来店を呼びかけています。

土・日曜日の相談窓口は、前橋・高崎・桐生・太田・伊勢崎・大泉の6支店。その他の支店は土曜日のみの開催です。（群馬県庁出張所は未開催。前橋東出張所は第3土曜日のみの開催）

土・日曜日の相談窓口では現金の取り扱いはなく、また、一斉休業日を設けていることから詳細については県内各支店へ問い合わせをしてくださいとのことです。



住宅資金



教育資金



旅行費用



資産運用



車の資金

下記ホームページから来店予約ができます

【ホームページ予約専用URL】

<http://chuo.rokin.com/link/soudankai>

第3回中之条5時間リレーマラソン大会 「ROKIN60」が見事フルマラソン賞を受賞！

2014年12月7日(日)、第3回中之条5時間リレーマラソン大会(出場222チーム)が開催されました。中央労働金庫中之条支店は、支店開設60周年を記念して結成した「ROKIN60」として参加しました。チームメンバーは、中之条支店全職員、中之条支店推進幹事会から小池代表と萩原副代表、加えて「ロッキー」の9人1羽というメンバーです。全員が特製Tシャツを着用し、雪の舞う寒空をものともしない熱い走りを繰り広げました。とりわけ「ロッキー」は他チームの仮装の追従を許さない圧倒的なインパクトで子供を中心に大きな歓声を浴びながらの力走でした。コスプレ大賞こそ逃したものなく「ろうきん」のイメージアップに大きく貢献しています。チーム「ROKIN60」は、無事5時間タスキをつなぎ、また走行距離が42.195kmを越えたことで見事「フルマラソン賞」を受賞しました。町おこしの一環として開催されるこのイベントに参加することで、「中央ろうきん」としての地域貢献によりつなげていくことができます。また5時間に渡り全員で汗を流して1本のタスキをリレーすることで、ろうきん職員間ならびに推進幹事との「絆」を深めることにも繋がりました。永井支店長の指揮のもと走り切った中之条支店メンバーの皆さん、今回の出場趣旨に賛同し、数ヶ月前から体力作りを始めて頂いた小池代表、萩原副代表。そしてロッキー。皆さん大変お疲れ様でした。



いい走りです



「ROKIN60」の皆さん



ロッキーの独走(??)

【中之条5時間リレーマラソンとは】

中之条町の国道を使った1周3.5キロメートル特設コースを3人から10人のチームでタスキをつないで5時間走りきるランニングイベントです。

福対協スポーツクラブ(F.S.C) 新規会員募集 !!

年会費

3,000円(消費税込) ※お申込から一年間

提携コース

関越ゴルフ倶楽部 中山コース(〒377-0701 吾妻郡高山村尻高字北山 4469-4)

★平成27年料金ご案内 <セルフ・昼食付・消費税・利用税(600円)込>

	平 日	休 日
F.S.C会員	4,860 円	7,000 円
ビジター	6,756 円	11,940 円

※別途、ゴルフ振興金30円がかかります。

※土日祝日のみ3B+540円、2B+2,160円

※ご精算は現金のみです。(クレジットカードの取り扱いはありません)

※感謝デー及び3/14(土)~4/24(金)、11/24(火)~クローズ期間は更に割引料金なります。

【お申込、お問い合わせ】福対協スポーツクラブ(F.S.C)

〒371-0852 群馬県前橋市総社町総社 2905-5 (株)福祉対策協会 内
Tel. 027-253-3001 Fax. 027-253-4355

ぐんま労福協会員からのお知らせです

2015年3月――

北毛保健生活協同組合

北毛病院は、生まれ変わります。



新病院外観パース

北毛保健生活協同組合は、協同の力が作り出した医療生協です。1953年に、渋川・北群馬の働く人々を中心に、いつでも安心してかかる医療機関を作ろうと診療所を開設しました。その活動のよりどころとして、北毛消費生活協同組合が設立され、その後、北毛保健生活協同組合に名称を変更、渋川市を中心とする渋川保健医療圏(3市町村)の地域医療・福祉の充実、保健予防活動、くらしや平和を守る運動、地域づくりなどに、組合員・役員・職員をはじめ地域の住民とともに活動し、2013年に創立60周年を迎えました。現在は、病院、診療所、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、介護老人保健施設、デイサービス、ヘルパーステーション、病児病後児保育と幅広い事業を提供しながら地域の暮らしを守る活動を続けています。

北毛病院は、救急車の受け入れでは渋川医療圏のトップの収容数であり、地域救急医療の中心を担いながら地域の一般病院としての役割に加え、在宅医療を担いながら医療と介護と福祉の連携をすすめる病院として、地域の要求に応えられる医療機関を目指し、現在新病院を建設しています。

3月23日に新病院での診療が開始されます。新病院では、今までの診療機能に加え、MRIなど新たな機器も導入されます。新病院になり、建物や機器が新しくなりますが、職員も設備に負けないよう、よりサービスの向上を目指し、頑張っていきます。地域の組合員、住民にとってのよりどころとなる医療機関でいられるように、より一層の努力をしていきます。



新北毛病院



北毛診療所 介護保健施設他



協同まつり

北毛保健生活協同組合 〒377-0005 群馬県渋川市有馬 237-1

北毛病院

TEL 0279-24-1234

北毛診療所

TEL 0279-24-2818

虹訪問看護ステーション

TEL 0279-23-5187

渋川市在宅介護支援センターしぶかわ

TEL 0279-30-2077

介護老人保健施設ほくもう

TEL 0279-60-5550

北毛介護福祉センター

TEL 0279-23-1165

病児病後児保育みづばち保育園

TEL 0279-24-1419